

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部



奥の細道
むすびの地
大垣

令和五年十二月度 入賞句一覽 投句数 六百三 句

特選

長野 美代子 選

引退の杜氏胸張る新走 東京都狛江市 椎野 一恵

杜氏と言えば、お酒を作る人です。酒倉に入りお米を蒸し、お酒を醸造する人です。永年携わり引退をされる時に、胸を張り良いお酒が出来たと言える新酒（新走）に満足する句です。心より嬉しさを表した句です。

咲き満ちてなほしづけさの冬櫻 愛知県西尾市 金子 恵美

静かで美しい御句です。冬桜と一言で言えば、満開に咲いても静かで心落ち着くやさしい花です。お品のある美しい御句です。

職去つて妻と二人の日向ぼこ 大阪府堺市 椋本 望生

一代のお仕事を定年が来てやめられ、お二人での日向ぼっこ。良いですね。お二人は共に元気で居られお幸せですね。ほほえましい御句です。

秀逸

ふところの焼芋カイロ急ぐ帰路 大垣市 宮上 美濃留

ひとつまみ新米供ふ父祖の墓 不破郡垂井町 竹嶋 富美子

浮く雲の舟のかたちに神の旅 大垣市 村田 通夫

晩照の池に水脈引く鴨一羽 大垣市 岡田 あや子

美しいものは危険と茸とり 岐阜市 船渡 恵

行く年や第九は天へ駆けのぼる 岐阜市 伊藤 をさむ

陽も陰り古苑潤す萩の雨 愛知県瀬戸市 宮崎 諭志

亡き妻の夫婦茶碗や冬うらら 大阪府東大阪市 森 佳月

天守のしやちほこ満月の囁やき 広島県福山市 中常 かつたろー。

木曾駒も甲斐駒も見ゆ賜日和 兵庫県豊岡市 辻井 一路

入選

年の瀬に聞くも懐かし杵の音
 茶の花垣無骨な夫の手に鉢
 晨明の鐘にふるえて露落つる
 七五三孫よりおめかし袋帯
 一斉に飛び立つ鴨のしぶき浴ぶ
 ごつき手の動き細やか松手入
 冬隣人待ち顔の木のベンチ
 山茶花の白薄れゆき暮れ泥み
 湯けむりや煤逃げきめる老ふたり
 肉眼で見る宇宙船秋の星
 庭先を照らすがごとく石露の花
 彩りに踏むをためらひ落葉道
 嵯峨野路のいつも何処かで逢ふ時雨
 濃き蔭や白夜の続く月の秋
 落葉掃く僧の作務衣も厚めかな
 寒天の岬は晴れて鳶の笛
 木枯しの戻りしところ伊吹山
 字足らずのやうな来し方暮の秋
 寒暖のなき病室や小夜しぐれ
 初時雨石碑一つの古戦場

一般の部

安八郡神戸町 早津 郁男
 養老郡養老町 山田 順子
 不破郡垂井町 川瀬 慶泉
 大垣市 安藤 弘子
 安八郡神戸町 竹中 元子
 養老郡養老町 田中 紫香
 東京都北区 菱沼 多美子
 揖斐郡池田町 市川 香
 大垣市 高津 喜久子
 大垣市 香田 末代
 大垣市 松岡 みつ
 兵庫県加古川市 戸田 みつよ
 三重県四日市市 後藤 允孝
 大垣市 高津 喜久子
 兵庫県姫路市 三木 崇弘
 愛知県尾張旭市 小野 薫
 三重県鈴鹿市 松井 政典
 愛知県豊田市 城山 悠水
 三重県三重郡 水野 悦子
 瑞穂市 谷 牛歩

選者吟

湖しづか波穂にゆだね初日影

美代子

